

◆ 概要

- ワンキー・マウスはすべての操作を1つのスイッチで行うことができるコンピュータ用入力装置です。
- スイッチを短く押してマウスカーソル移動を行います。
 - ・ スイッチを「トン」と短く押すとマウスカーソルが右に動きだします。
 - ・ カーソルが動いている時にスイッチを短く押すと、移動方向が直角方向に変わります。
 - ・ 移動方向はスイッチを押すごとに右—下—左—上—右…と変わってゆきます。
 - ・ カーソルが希望の位置に来たらスイッチを「ツー」と長く押すとカーソルが止まります。
- スイッチを長く押してマウスボタン操作を行います。
 - ・ カーソルが止まっているときにスイッチを長く押すと左ボタンクリック操作になります。
 - ・ 長く押す操作を2回続けるとダブルクリックになります。
 - ・ 3回続けると右クリックになります。
- スイッチ操作の長短を組み合わせてさまざまなマウス操作ができます。
 - ・ スイッチを長く押す操作(クリック)に続けて短く押す操作(カーソル移動)を行うと、ボタンを押したままでのカーソル移動(ドラッグ)を行うことができます。
 - ・ スイッチを長く押してカーソル移動を止めると、ドラッグ動作も終了します。
 - ・ 長短のスイッチ操作の組み合わせで、スクロール操作、カーソルスピードの切り換えなどができます。
- Windows、Mac OS、Android で使用できます。
 - ・ コンピュータ側のドライバはOS標準の物を利用するため、アプリケーションソフトとの「相性」による動作不良が起こりにくく、OSをバージョンアップしてもそのまま使用できます。
 - ・ 設定内容はコンピュータではなくワンキー・マウス内に記憶されるため、コンピュータを共用する場合などにそれが使いやすい設定を維持できます。
 - ・ コンピュータとの接続にはUSBを使用しています。
 - ・ 電源は USB を通してコンピュータ本体より供給されます。
- 操作速度など使用状況に合わせた設定変更を使用者自身が行うことができます。移動方向、操作方法など多くの項目を設定できます。



◆ 接続

- 「スイッチ」ジャックに操作用スイッチを接続してください。(スイッチは付属しません)
 - ・ 操作用スイッチは 3.5mm ミニプラグ付きのものを使用してください。
- USB コードをワンキー・マウスに差し込み、コードのもう一方をコンピュータの USB ポートに差し込んでください。

◆ インストール

- コンピュータの電源を入れOS(Windows/Mac OS)が起動した状態で USB ポートにワンキー・マウスを接続してください。
- 数秒後に ワンキー・マウスのブザーが「ピッ」と鳴ればインストール完了です。

◆ スイッチ操作一覧

・:スイッチを短く押す ー:スイッチを長く押す *:設定ソフトで変更可能 [A]:Android モード

スイッチ操作	カーソル停止時	カーソル移動中	備考
・	右*へ移動開始	右*へ曲がる	
ー	クリック	停止、ドロップ	
---	ダブルクリック*		[A]「ホーム」ボタン
----	右クリック*		[A]「戻る」ボタン
-.	ドラッグ 右*へ移動開始		クリック+右移動
--	低速で右*へ移動開始	速度切り換え	
--	下*へ移動開始	Uターン	右折2回
---	左*へ移動開始	左*へ曲がる	右折3回
----	上*へ移動開始		
-----.	右ドラッグ* 右*へ移動開始		右クリック+右移動
-----	中(スクロール)ボタン*		[A]「メニュー」ボタン
--.-	上へスクロール		ホイール
--.-.	下へスクロール		ホイール
--.-.	スピードアップ		
--.-.	スピードダウン		
-----	第2の設定へ切り換え		[A]画面消し
-----	設定ソフト操作		
-----.	Mac 用設定		
-----..	Android/PCモード切り換え		

ワンショット操作

スイッチ操作	カーソル停止時	カーソル移動中	備考
・	カーソル移動開始	移動方向切換	通常動作と同じ
--	左クリック	停止、 ドロップ(ドラッグ中)	長1回「ー」と同じ
---	右クリック	速度切換	速度切換は 移動中のみ可能
----	左ダブルクリック (短2回の2回繰り返し)	移動方向反転 (左←→右、上←→下)	
-----	ドラッグで移動開始	ドラッグ(移動中) ドロップ(ドラッグ中)	
ー	左クリック	カーソル停止	短2回「ー」と同じ
-----	設定ソフト操作	なし	

◆ 操作説明

1. 基本操作

* : 設定ソフトで変更可能

- ・操作スイッチを短く押すか、長く押すかの違いで操作内容を選択します。
- ・長短を区別する時間は約 0.5 秒*で、長く押すとブザーが鳴ります*。

2. カーソル操作

- ・短く押す操作でマウスカーソルの移動方向を選択します。
- ・マウスカーソルが停止した状態で短く1回押すと、カーソルが右*移動を開始します。
- ・カーソルが右移動中に短く1回押すと、カーソルの移動方向は下*方向に変わります。
- ・さらに短く1回押すと、左*方向に移動をはじめます。以降短く1回押すごとに移動方向が 90 度ずつ変わります。
- ・移動中のカーソルを停止させるには操作スイッチを長く押します。
- ・停止後短く押す操作で再び移動を開始するとき、移動方向は右*から始まります。

3. ボタン操作

- ・スイッチを長く押す操作でマウスボタン操作を行います。
- ・マウスカーソルが停止した状態で長く1回押すと、左クリックが行われます。
- ・マウスカーソルが停止した状態で長く押す操作を2回続けて行うと、左ボタンのダブルクリック*が行われます。
- ・マウスカーソルが停止した状態で長く押す操作を3回続けて行うと、右クリック*が行われます。

4. 連続操作(組み合わせ操作)

- ・短く押す操作を続けて行うと、カーソルの移動方向が中間の移動方向を経ず一気に変わります。たとえば右移動中に短く2回押すとカーソルは下に移動することなく左へ移動します。
- ・マウスカーソルが停止した状態で長く1回押すと、左クリックが行われますが、続けて短く押す操作を行うと、左ボタンが押されたままカーソルが移動するドラッグ動作となります。ドラッグ動作の解除(ドロップ)は長く1回押してカーソル移動を止めたときに行われます。
- ・右クリック操作直後に短く押して移動を開始すると右ドラッグ動作となります。

5. スクロール操作

- ・スイッチを長く押す操作を4回続けて行うと、マウスのスクロールボタン(中ボタン)操作となり、カーソル移動操作で画面がスクロールします。(Windows のみ)
- ・スクロール動作はクリック操作を行うと解除されます。
- ・スイッチを「長短長」と押すとマウスのスクロールホイールを手前に回す操作となり、画面が下へスクロールします。(文書が上に流れ下の方が見えるようになる)
- ・スイッチを「長短長短」と続けて押すと、マウスのスクロールホイールを奥に回す操作となり、画面が上へスクロールします。(文書が下に流れ上の方が見えるようになる)
- ・スクロール量は「コントロールパネル」(Windows)「システム環境設定」(Mac OS)の「マウス」で調節できます。

6. 低速切り換え

- ・スイッチを「短長」と押すと低速でカーソル移動が始まり、細かいアイコンなどにカーソルを合わせやすくなります。
- ・スピード切り換えはカーソル移動中でもできます。
- ・低速移動中もう一度スイッチを「短長」と押すと、通常のスピードに戻ります。

- ・低速移動中スイッチを長く押してカーソルを止めると、つぎの移動は通常のスピードで始まります。

7. カーソルスピード設定

- ・スイッチを「長長短長」と続けて押すと、カーソル移動スピードが一段階速くなります。
- ・「長長短長」操作を行うごとにスピードが速くなっています。
- ・スイッチを「長短長長」と続けて押すと、カーソル移動スピードが一段階遅くなります。
- ・「長短長長」操作を行うごとにスピードが遅くなっています。
- ・設定したスピードはワンキー・マウス内に記憶され次回の起動時も変更後のスピードで動作します。

8. Mac 用設定

- ・スイッチを長く押す操作7回に続け短く1回押す「長長長長長長短」と、Mac OS での使用に適した設定に変わります。
- ・Mac 用設定にすると以下の点が変わります。
 - ・同じスピード設定にしたときカーソル移動スピードが速くなります。
 - ・スピード設定を変えたとき変化量が小さくなります。
 - ・通常スピードと低速移動スピードの比が小さくなります。
 - ・スクロールホイール操作時のスクロール量が大きくなります。
 - ・設定ソフト操作時の動作が安定します。
- ・Mac 用設定にせずに Mac OS で使用することも、Mac 用設定にして Windows で使用することも可能です。
- ・Mac 用設定はワンキー・マウス内に記憶され次回の起動時も同設定で動作します。
- ・Mac 用に設定された状態で「長長長長長長短」とスイッチを押すと、Mac 用設定は解除されます。

9. 第2の設定

- ・スイッチを長く押す操作を5回繰り返すと第2の設定(裏モード)で動作します。
- ・第2の設定では第1の設定(表モード)と異なった動作設定の組み合わせ(セット)で動作します。
- ・ネットサーフィン時は第1の設定、メールを書くときは第2の設定のようにそれぞれに最適な設定にしておき必要に応じた使い分けができます。
- ・第2の設定動作中にスイッチを長く押す操作を5回繰り返すと第1の設定に戻ります。
- ・起動時は常に第1の設定で動作します。

10. ワンショット操作

- ・操作した瞬間のみオンとなり長押し操作ができないワンショット出力タイプのスイッチ／センサーで操作できるようになります。
- ・スイッチ自体は長押し操作ができるタイプであっても、長押し操作がやりにくい場合、短く押す操作だけを使用できるようになります。
- ・操作内容をスイッチの操作回数で選択します。
 - ・短1回: カーソル移動開始／移動方向切換(通常動作時と同じ)
 - ・短2回: 左クリック／カーソル停止、ドロップ(通常動作の長1回と同じ)
 - ・短3回: 右クリック／低速切換(低速切換は移動中のみ)
 - ・短4回: ダブルクリック／移動方向反転(Uターン)
 - ・短5回: ドラッグ／ドロップ(移動中も可能)
- ・長押しできる場合一部長押し操作と併用できます。長1回: 左クリック／カーソル停止
- ・速度切換はカーソル移動中のみ可能です。一旦通常速度で移動を開始してから低速に切り換えてください。停止操作は低速のままでできます。

- ・ドラッグ操作はカーソル移動中も可能です。カーソル移動中にドラッグ操作を行うと移動方向を変えずにドラッグ(左ボタンオン)できます。(通常は停止状態からドラッグ開始)
- ・ドラッグ中にさらにドラッグ操作を行うとドロップ操作(左ボタンオフ)となります。この場合カーソル移動は継続します。(通常は短2回「・・」でドロップと停止)
- ・ワンショット操作にするには設定変更ソフトで「長押し後連続操作時間」を「1」(最長)に設定します。(設定変更ソフトでコメントは特に表示されません)
- ・設定変更ソフトの操作にはスイッチの長押しが必要です。ワンショット出力タイプのスイッチの場合設定用に長押しのできるスイッチを別に用意してください。
- ・スイッチによってはワンショット出力時間が長く、長押しと認識されてしまうことがあります。その場合「長／短切り分け時間」を長く(数値を小さく)設定してください。長押しを使わなければ最長「1」にして支障ありません。
- ・スイッチの連続操作のあいだに時間があくと、別々の短1回操作と認識され、たとえば左クリック「・・」が「・」+「・」と認識されてカーソル移動／方向切換動作となります。連続操作しにくい場合は「短押し後連続操作時間」を長く(数値を小さく)設定してください。ただし、長くするほどスイッチ操作からカーソルの反応やクリック動作までの遅れが大きくなります。

11.既定値での起動

- ・スイッチを押した状態で起動する(USB プラグを差し込む)と、既定値設定(出荷時の設定)で動作します。
- ・設定変更を誤り変更操作自体が困難になった場合などに使用します。

◆ 設定変更ソフト

- 設定変更ソフトを使用して操作方法、動作のしかた、スピードなどを変えられます。
 - 設定できる項目
 - ・カーソル移動方向:90度ごとの4方向か斜め方向を含む8方向か
 - ・カーソルが曲がるときの向き:右(時計回り)か左(反時計回り)か
 - ・カーソル移動開始時の方向:上、下、左、右
 - ・ ブザーの鳴らし方:なし(鳴らさない)、長押し時、押し始め+長押し、押し始め+長押し時+確定(実行)時
 - ・スイッチの長2回押し操作:ダブルクリックか右クリックか
 - ・ スイッチの長3回押し操作:ダブルクリック、右クリック、中(スクロール)ボタン、ワープ(直前方向へ高速移動)、画面左上隅にジャンプ(Apple メニュー)、画面左下隅にジャンプ(スタートボタン)、画面右下隅にジャンプ、画面右上隅にジャンプ(クローズボタン)
 - ・ スイッチの長4回押し操作:ダブルクリック、右クリック、中ボタン、ワープ、画面左上隅にジャンプ、画面左下隅にジャンプ、画面右下隅にジャンプ、画面右上隅にジャンプ
 - ・ 右クリック後カーソルを右下に少し移動:なし、あり(メニュー項目を選択しやすくする)
 - ・ カーソル移動スピード:8段階に設定
- スイッチの「長長短長」または「長短長長」操作でスピード調整を行った場合はその設定が優先されます。
- ・スイッチ操作の長短判別時間:8段階に設定
 - スイッチが長く押されたと判断する切り分け時間を設定します。数字が大きいほど短くなります。
 - ・スイッチを短く押した後の待ち時間:8段階に設定

スイッチを短く押す操作の後の待ち時間を設定します。待ち時間の間はカーソルが移動しないので続けて操作するとカーソルは直接希望の方向に向かって移動します。

- スイッチを長く押した後の待ち時間:8段階に設定

スイッチを長く押す操作の後の待ち時間を設定します。短く設定すると操作から実際のクリック動作までの時間が短くなりますが、連続操作の時にスイッチを素早く押す必要があります。

- 第2の設定の内容を変更したいときはあらかじめ第2の設定に切り換えた状態(長5回)で設定ソフトを起動してください。
- 既定設定値で起動(スイッチを押した状態で USB プラグを差し込む)して設定ソフトを起動すると、第1の設定の値が変わります。
- 設定した内容はコンピュータではなくワンキー・マウス内に記憶されるので、設定だけを他のコンピュータで行うこともできます。
- 設定ソフト起動後は全ての操作をワンキー・マウスで行ってください。他のマウスやキーボードで操作を行うとエラーとなり設定ソフトは異常終了します。
- 設定ソフトが異常終了したときは、スイッチを長く3回押してワンキー・マウスを通常状態にもどしてください。
- Windows

1. okmouse2 を起動します。



2. マウスカーソルを【設定】ボタンの中央へ移動して停め、スイッチを長く6回続けて押してください。ブザーが鳴り、「設定読み込み中」と表示されます。

3. 読み込みが終了すると設定画面が表示されます。



4. 画面で水色の部分が現在選択されている項目です。

5. 項目を移動するには短く1回押します。

6. 項目の内容を変更するには、スイッチを長く1回します。すると、項目が黄色に変わります。

7. 項目が黄色の状態でスイッチを長く1回押すと、「現在値」が順に変わります。

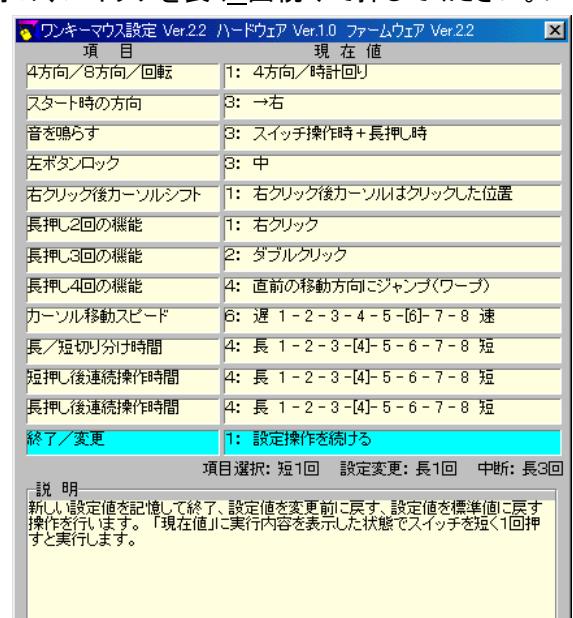
8. その項目の変更が終わったら、スイッチを短く1回押すと項目が水色に戻り項目移動ができるようになります。

9. すべての設定が終わったら一番下の項目を選択し、スイッチを長く1回押す操作を行って「2:記憶して終了」を表示させ、スイッチを短く1回押すと設定値がワンキー・マウスに記憶され、設定動作を終了します。

10. 一番下の項目で「3:変更前に戻す」を表示させ、スイッチを短く1回押すと設定変更前の値にもどります。

11. 一番下の項目で「4:標準値に戻す」を表示させ、スイッチを短く1回押すと出荷時の値にもどります。

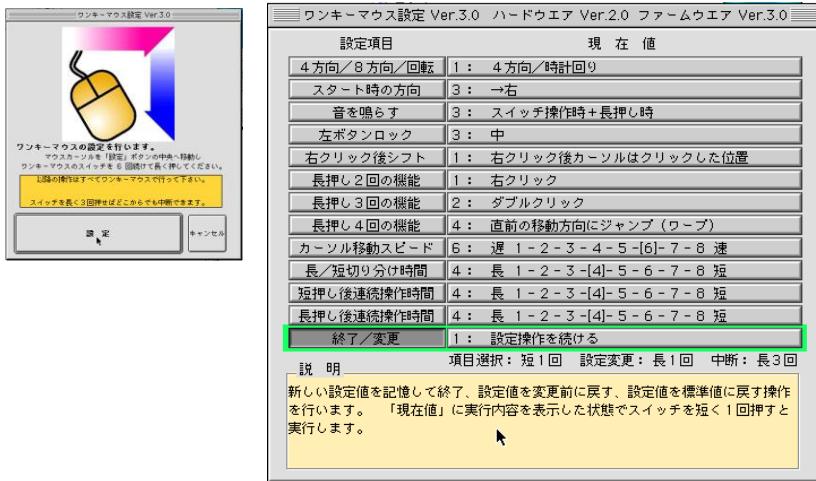
12. スイッチを長く3回押すとどこからでも設定を中断して終了します。この場合それまでに行った変更は記憶されません。





- Mac OS8 OS9

1. OKMouseMac を起動します。
2. マウスカーソルを【設定】ボタンの中央へ移動し、カーソル操作スイッチを長く6回続けて押してください。ブザーが鳴り、「データ読み込み中」と表示されます。
3. 読み込みが終了すると設定画面が表示されます。

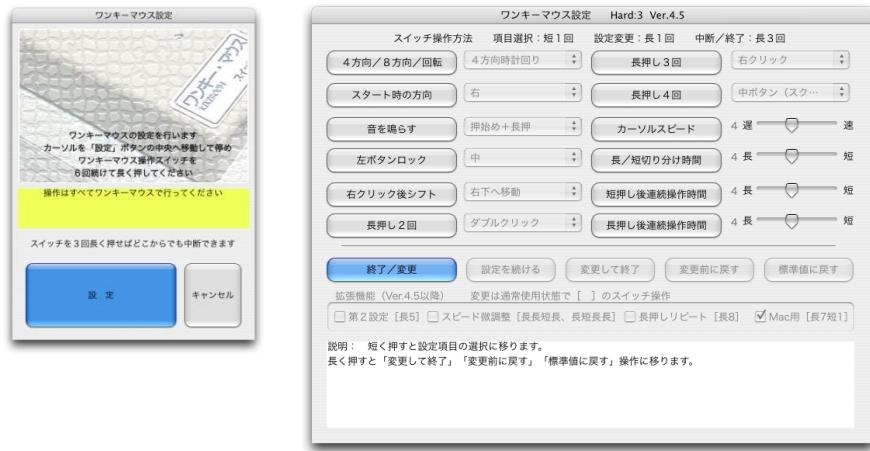


4. 画面で緑の部分が現在選択されている項目です。
5. 項目を移動するには短く1回押します。
6. 項目の内容を変更するにはスイッチを長く1回押します。項目が黄色になります。
7. 項目が黄色の状態でスイッチを長く1回押すと、「現在値」が順に変わります。
8. その項目の変更が終わったら、スイッチを短く1回押すと項目が緑に戻り項目移動ができるようになります。
9. すべての設定が終わったら一番下の項目を選択し、スイッチを長く1回押す操作を行って「2:記憶して終了」を表示させ、スイッチを短く1回押すと設定値がワンキー・マウスに記憶され、設定動作を終了します。
10. 一番下の項目で「3:変更前に戻す」を表示させ、スイッチを短く1回押すと設定変更前の値にもどります。
11. 一番下の項目で「4:標準値に戻す」を表示させ、スイッチを短く1回押すと出荷時の値にもどります。
12. スイッチを長く3回押すとどこからでも設定を中断して終了します。この場合それまでに行った変更は記憶されません。

- Mac OSX

1. Ok5Xmac を起動します。
2. マウスカーソルを【設定】ボタンの中央へ移動し、カーソル操作スイッチを長く6回続けて押してください。ブザーが鳴り、「データ読み込み中」と表示されます。
3. 読み込みが完了すると設定画面が表示されます。





4. 画面で青のボタンが現在選択されている項目です。
5. 項目を移動するにはスイッチを短く1回押します。
6. 項目の内容を変更するにはスイッチを長く1回押します。今までグレーだった設定内容が変更可能な状態になります。
7. 変更可能な状態でスイッチを長く1回押すと、設定値が順に変わります。
8. その項目の変更が終わったら、スイッチを短く1回押すと設定値がグレーに戻り項目移動ができるようになります。
9. すべての設定が終わったら一番下の項目を選択し、スイッチを長く1回押す操作を行って「変更して終了」を選択(青表示)し、スイッチを短く1回押すと設定値がワンキー・マウスに記憶され、設定動作を終了します。
10. 一番下の項目で「変更前に戻す」を選択し、スイッチを短く1回押すと設定変更前の値にもどります。
11. 一番下の項目で「標準値に戻す」を選択し、スイッチを短く1回押すと出荷時の値にもどります。
12. 画面の下の方に「拡張機能」として第2設定、スピード微調整、長押しリピート、Mac 用の各選択状態が表示されます。これらは状態表示のみで設定ソフト内での変更はできません。通常使用状態に戻ってスイッチ操作で設定を行ってください。
13. スイッチを長く3回押すとどこからでも設定を中断して終了します。この場合それまでに行った変更は記憶されません。

◆ 連絡先

福士 幸弘

yukihiro.fukushi@nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/kikiroom/>

改訂履歴:

2013年9月 4日 rev.5.0
2007年2月 25日 rev.4.5
2003年4月 23日 rev.4.2
2003年2月 25日 rev.4.1
2001年12月 5日 rev.4.0
2001年2月 9日 rev.3.3
2000年11月 1日 rev.3.2
2000年8月 18日 rev.3.1
2000年8月 3日 rev.3.0
2000年7月 29日 rev.2.2
2000年5月 26日 rev.2.0
2000年4月 16日 rev.1.0